

市民の会が開く 第13回シンポジウム

医療の良心を守る市民の会

<http://ryousin.web.fc2.com/>

ほんとうのことを知るのが、なぜ難しい？

患者と医療者が 手をつなぐためにすべきこと

<テーマ>

「事故調査は？」
「何故、内部告発を？」

- 夫の医療事故の例 伊藤 典子氏
- 内部告発の当事者として
千葉県がんセンターの事例
志村 福子氏
金澤大学医学部附属病院の事例
打出 喜義氏
- ディスカッション（質疑応答・討議）
上記3名のシンポジスト（+永井裕之）

*コーディネーター

大熊 由紀子氏
(国際医療福祉大学大学院 教授)

●日時：平成26年7月12日(土) 13:30~16:45

《受付》13:00~

●会場：スタンダード会議室
新橋フルハウス店6階
TEL:03-5719-4894
港区東新橋1-1-18 渡部ビル
(ヤクルトビル隣り)
JR・東京メトロ銀座線・
都営浅草線・新橋駅 徒歩2分

●参加費：無料(募金をお願いします)

●定員：90名(事前登録優先)

●交流会：17:30~
近くの居酒屋で



主催：
医療の良心を守る市民の会

共催：
患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

(問い合わせ先&事前登録先)
email: ryousin_office6415@freeml.com
Fax: 047(380)9806
〒279-0012 浦安市入船3-59-101 永井方

後援：
特定非営利活動法人 患者のための医療ネット

愛する人が
なぜ死んだのか、
わからないの？

医療裁判には、
限界がある

患者に
本当のことが
言えなくなってしまうの？

このままでは
患者と医療者が
歩み寄れない？

患者のためを思って行動した良心的な医療者を
私たちは守り、物心両面で支えます